

第6学年3組 国語科
 単元名：「いのち」の物語のメッセージ
 教材文「海のいのち」

指導者 東 真由美

児童の願い

物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えたい。



ゴール

「海のいのち」の物語が自分に最も強く語りかけてきたことをキャッチコピーで表現する。

本単元で付けたい力

- 登場人物の心情や場面の描写についてとらえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読むことができる。 **【読むこと エ】**

言語活動

「海のいのち」を読み、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉のキャッチコピーで表現し、ポスターにまとめる。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・「いのち」の各物語が最も強く語りかけてきたことを比較しながら読んだり、「いのち」の物語のメッセージに対する自分の考えを伝え合ったりしようとしている。	・物語が最も強く語りかけてきたことを考えながら読んだり、自分の考えを友達に伝え合ったりしようとしている。
【思考力】	・登場人物の相互関係や心情、場面の描写、登場人物の役割など複数の事柄を関連付けながら、中心となる登場人物の心情の変化を考えている。 ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて、叙述や生活経験などを根拠にして考えている。	・登場人物の相互関係や心情、場面の描写を関連付けながら、中心となる登場人物の心情の変化を考えている。 ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて、叙述などを根拠にして考えている。
【自己理解】	・「いのち」の物語を読み比べる面白さや深さを感じるとともに、物語からのメッセージを読み取る力の高まりや奥深さに気付いている。	・「いのち」の物語を読み比べる楽しさや面白さ、物語からのメッセージを読み取る力の高まりに気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程 (全13時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力
<p>課題の設定 I (2)</p> <p>○教材文「海のいのち」と出会い、初読の感想をもつ。 ・教師による朗読を聞き、「初読の『作品のメッセージ』」(物語が自分に強く語りかけてくること)を短い言葉のキャッチコピーで表現し、その理由を書く。 ・物語から受け取るメッセージの違いや面白さに気づき、物語が自分に最も強く語りかけていることをキャッチコピーで交流することを単元のゴールとして設定し、単元で付けたい力について考える。</p>	主体性
<p>○物語を読む時の方法確かめ、学習の見通しを立てる。 ・これまでに学習した物語の読み方を想起し、読む時に気を付けることを確認する。(人物と人物との関係、物語の山場で起きる大きな変化、表現の工夫、行動や心情に対する「問い」など) ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。 ・物語の大まかな流れをつかみ、基本4場面(始まりの場面、出来事の展開場面、山場、終わりの場面)について読む。</p>	主体性

学 習 活 動		育成したい 資質・能力
<p>情報の収集（２）</p> <p>○教材文「海のいのち」の出来事の流れを大きくとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物「太一」の「時」の移り変わりにより 9 場面で構成され、物語は太一の生涯の物語であることをとらえる。 ・各場面を一文で書き表し、あらすじをまとめる。 	立松和平の「いのちシリーズ」の並行読書	思考力
<p>○始まりの場面を中心に設定をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本 4 場面を再確認する。 ・始まりの場面の「時」、「場」、「人物（状況）」の設定をまとめる。 <p>「時」…（太一の生涯）幼い太一 「場」…海「父も、その父も、その先ずっと顔も知らない父親たちが住んでいた海」 「人物」…父（村一番のもぐり漁師、「海のめぐみだからなあ」） 太一（父へのあこがれ、「おとうといっしょに海に出る」）</p>		思考力
<p>整理・分析Ⅰ（１）</p> <p>○これまでの学習を「物語の流れ」としてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートをもとに、「場面構成」「あらすじ」「設定」などをまとめる。 		主体性
<p>課題の設定Ⅱ（１）</p> <p>○教材文「海のいのち」の「問い」を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山場で「何が、どのように、どうして変わった」ということを考えるための物語の重要な「問い」を設定する。 ・重要な「問い」に向けて、学級で考えたい「問い」を設定する。 【本時】 		主体性
<p>整理・分析Ⅱ（３）</p> <p>○重要な「問い」に向けて、学級で考えたい「問い」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太一が、中学校を卒業する年の夏、無理やり与吉じいさの弟子になった理由について考える。 ・「海に帰りましたか」と、与吉じいさに両手を合わせる太一の思いについて考える。 		思考力
<p>○重要な「問い」に向けて、学級で考えたい「問い」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とうとう父の海にやってきた太一の思いについて考える。 ・太一が背負おうとした母の悲しみとは何かについて考える。 		思考力
<p>○重要な「問い」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太一はなぜ、瀬の主を殺さなかったのか、考えを交流することを通して太一の心情の変化をとらえる。 		思考力
<p>まとめ・創造・表現（３）</p> <p>○教材文「海のいのち」が自分に最も強く語りかけてきたことをキャッチコピーで表現し、ポスターにまとめる。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「作品のメッセージ」（物語が自分に最も強く語りかけてくること）をキャッチコピーで表現し、解説する文章を書く。 		思考力
<p>○ポスターを交流したり、「いのちシリーズ」の物語を読み比べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のキャッチコピーやその理由を聞き、友達の考え方の違いや面白さなどを交流する。 ・「いのちシリーズ」の絵本を読み比べ、感想や物語のメッセージを交流し合う。 		思考力
<p>振り返り（１）</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや物語を基に自らの学びを振り返る。 		自己理解